

2025 年度自己点検及び評価報告書

実施日：2026 年 3 月 13 日
学校法人英数学館
英数学館岡山校日本語科
責任者：校長 加計 道佳
担当者：主任教員 藤井 明美

出入国在留管理庁の「日本語教育機関の告示基準」における点検・評価の規定に則り、本校は教育水準の向上を図り、目的を達成するため、活動や状況について自ら点検および評価を行います。

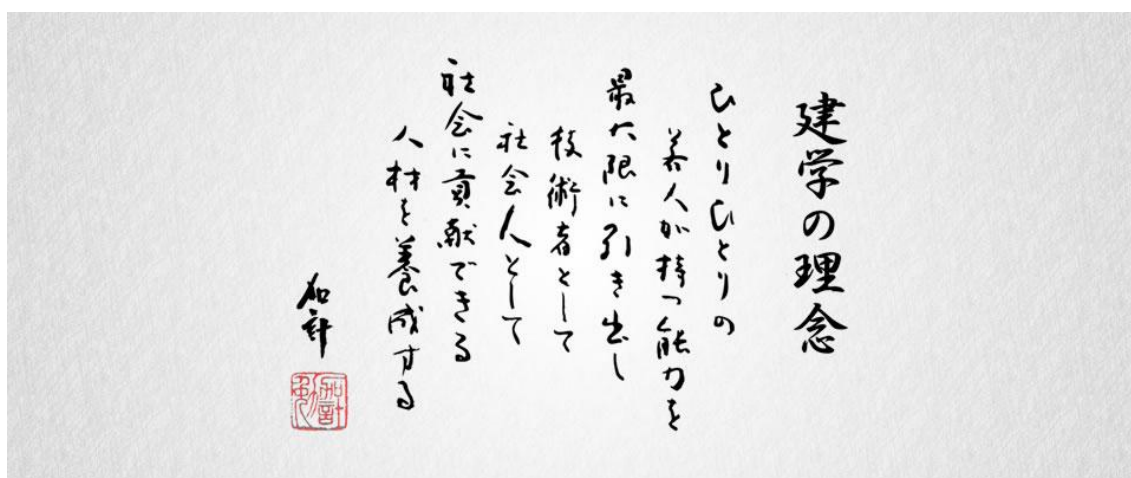
下記チェックリストに沿った点検・評価を毎年 1 回、校長・教職員で実施し、教職員会において問題点を検討して改善のための方策を打ち出します。

自己点検及び評価報告書についてはホームページにて公開し、学内においては掲示発表します。

点検及び評価の項目と、各項目を下記のように設定します。

適切である…5 ほぼ適切である…4 どちらともいえない…3

やや不適切である…2 改善が必要…1



1. 「理念・目的」

項目	評価	点検結果
① 教育理念・目標が明確となっているか	4	建学の理念、教育目的、教育目標は次年度開設予定のHPに掲載されるので、より明確になる。
② 教育理念・目標は定期的に見直されているか	4	建学の理念、教育目的、教育目標の確認に留まっている。
③ 教育理念・目標は教職員・学生に浸透しているか	4	建学の理念、教育目的、教育目標をHPに掲載することで、教職員・学生及び受験生や関係者にも周知を図る。

現状の問題点

教育理念・目標が教職員・学生に十分に浸透していない。

改善のための方策

入学前の学生に配布している留学生ガイドに建学の理念、教育目的、教育目標を掲載し、新学期オリエンテーションの際に学生へ周知する。また、教職員会において、建学の理念、教育目的、教育目標の確認を行うことで、見直す機会を設ける。

2. 「学校運営・教員・教員組織」

項目	評価	点検結果
① 運営体制は日本語教育機関の告示基準を満たしているか	5	令和6年4月26日一部改定版に適合している。
② 理念・目的に沿った運営体制は策定されているか	5	校長は校務をつかさどり所属する教職員を総督しており、副校長がその補佐を担うことで理念・目的を達成する運営体制が構築されている。
③ 理念・目的に沿った事業計画は策定されているか	4	自己点検結果を元にした事業計画を実行している
④ 組織運営・人事に関する規定や意思決定システム、コンプライアンス体制は整備されているか	5	法人本部において体制が整備されている。
⑤ 財務管理に関する規定や意思	5	法人本部において体制が整備されてい

決定システム、コンプライアンス体制は整備されているか		る。
----------------------------	--	----

現状の問題点

新規校であるため、事業計画どおりに進行していないところがある。

改善のための方策

より詳細な事業計画の策定を検討する。

3. 「教育内容・方法」

項目	評価	点検結果
① 教育理念に沿った教育課程は体系的に編成されているか	5	目標に合わせたカリキュラムの作成に取り組んでいる。年間授業計画、時間割を編成している。
② 成績評価・進級・修了の判定基準は明確となっているか	5	成績評価・修了の判定基準については学則に明記されており、細則に必要な事項を定められている。
③ 成績評価・進級・修了の判定基準は適切に運用されているか	5	試験成績、出席状況、受講態度により評価され、留学生管理システム WSDB にて管理されている。
④ 教員の指導力向上のための取り組みは行われているか	4	指導力向上に資する研修を令和8年度より実施する予定である。
⑤ 教育課程の改善のための取り組みは行われているか	5	認定日本語教育機関申請に向けて、教育課程の改善に取り組んでいる。

現状の問題点

教員の指導力向上のための取り組みが不足している。

改善のための方策

授業内容等の改善のための組織的な研修計画について、教職員会で審議し、2026年度より実施する。

4. 「学習成果」

項目	評価	点検結果
① 学生の日本語能力の向上は図られているか	5	定期テスト、毎日の単語小テスト、週に一回の漢字書き取りテストの実施、年に二回の日本語能力試験の受験によっ

		て日本語能力の向上を図っている。
② 学生の日本語能力の進捗状況を適切に把握しているか	5	定期テスト、小テスト、宿題、作文、発表、授業内での発話等を通して多面的に把握している 授業記録によって教師間で把握している。
③ 学生の進路を適切に把握しているか	5	進路調査表を使用して確認している。教職員会において共有されており、適切な進路指導が行われているか確認されている。
④ 学生の自己評価を適切に把握しているか	4	主教材の单元ごとに設定されている Can do を学習の振り返りに利用している。

現状の問題点

学生の自己評価の把握が不十分である。

改善のための方策

学生が自己評価できる場を適宜設けることが必要。

5. 「学生支援」

項目	評価	点検結果
① 学生に対する学習相談は整備されているか	5	専任教員が支援者として学習相談を受けている。日本語能力が伸び悩んでいる学生には、個別相談を実施している。
② 学生の進路に対する支援体制は整備されているか	5	専任教員が出願書類の確認を行い、進路実現までの道のりをサポートしている。
③ 健康管理への支援体制は整備されているか	5	年に1回健康診断を行っている。病院で受診する際は教職員がサポートしている。
④ 日本での生活指導への支援体制は整備されているか	5	入国後の生活が円滑にいくよう、留学生ガイドを配布して指導している。宿舎の大家と協力して、生活支援を実施している。
⑤ 防災や緊急時における体制は整備されているか	4	緊急避難場所を学生に周知して、災害の種類によって避難等を行えるよう指導している。

現状の問題点

避難訓練を実施していない。警察による交通安全教室を実施できなかった。

改善のための方策

校内の設備点検に合わせて避難訓練を実施するよう計画する。関連学園で実施される交通安全教室に参加する。

2026年度より健康診断は学校保健安全法に準じた項目に変更する予定である。

6. 「教育環境」

項目	評価	点検結果
① 学校の施設・設備は十分かつ安全に整備されているか	4	校舎は、告示基準に定められている施設・設備の規定を満たしている。 Windows10の更新終了を踏まえ、PC機器の更新を行った。
② 教材は適切か	4	教材は概ね適切であると考えられる。 副教材に関しては学生の学習状況に合わせて定期的に見直しをする。
③ 学習効果を測るための環境整備はなされているか	5	試験成績、出席状況は留学生管理システムWSDBにて管理されている。 出席状況が90%を低下した学生を把握でき、現状把握と生活を改善させる面談を実施している。
③ 教職員の勤務時間は適切か	4	繁忙期に業務が偏る傾向にあるため、業務の分散が課題である

現状の問題点

教育環境の整備は優先順位を踏まえて実施しているが、施設設備が老朽化している箇所は残っている。

改善のための方策

施設設備の改修は予算を勘案して、中期的な予算計画を策定して実施するよう検討する。教職員の勤務時間については、職務分掌、業務フローの整備によって業務の効率を図り、勤務時間の適正化を実現させる。

7. 「学生の受け入れ」

項目	評価	点検結果
① 入学者の募集は適切に行われ	4	受験生に必要な開示項目は学生募集要項

ているか		に記載されている。
② 入学者の募集の際に学校情報は正確に伝えられているか	5	海外の募集代理人とは、緊密に情報連携を行い、募集情報を提供している。
④ 授業料は適切か	5	岡山県内の日本語学校の学費は、概ね年間70万円～80万円の範囲にある。本校の学費74万円は中央値に位置している。 また、収容定員が充足すれば収支の改善が見込まれ、施設・設備の改修にも充てることができるため、適切な水準であると考えられる。

現状の問題点

収容定員が充足していない。

改善のための方策

積極的な学生募集および円滑な申し込み対応を図るため、ホームページの新規構築、パンフレットの改修、募集要項の改編を行う。また、海外協力校との連絡窓口となる人員の配置についても検討している。

8. 「財務」

項目	評価	点検結果
① 中長期的に財務基盤は安定しているか	5	本校を設置する学校法人英数学館は、中長期的に安定しており財務基盤は確立されている。今後入学者が増えることで、本校の収支も改善される見込みである。
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	5	新年度の予算・収支計画については、学校法人英数学館の理事会・評議員会の場で審議され、承認を受けており、有効かつ妥当なものとなっている。
③ 会計監査は適切に行われているか	5	決算については、適正な会計処理を行い、公認会計士である監事による会計監査を受け、学校法人の理事会・評議員会の場で、監査報告がなされ、承認を受けている。

④ 財務情報の公開の体制はできているか	4	法人本部において備え付けられており、閲覧可能となっている。
---------------------	---	-------------------------------

現状の問題点

収容定員が充足していないため、学生生徒納付金が少ない。

改善のための方策

海外協力校や日本語学校に対して積極的な学生募集を行う。開校から3年が経過し、卒業生を輩出する段階となったことから、退学者が少ない日本語学校であることや、進学実績が出ていることを新たな強みとして積極的に発信していく。

9. 「法令遵守」

項目	評価	備考
① 出入国管理及び難民認定法及び各種関係法令等の遵守と適切な運営はなされているか	5	告示基準に定められている届出、報告事項については遅滞なく行っている。
② 個人情報の保護の取組は適切に行われているか	5	適正に管理し運営している。データの学外への持ち出しは禁止している。
③ 自己点検の実施と改善、及びその公開を適切に行っているか	5	自己点検は一年に一度、適切に行っている。その結果をホームページに公開している。

現状の問題点

告示基準に定められている届出、報告事項を漏れなく実施できる体制を継続していくことが重要である。

改善のための方策

出入国管理局等に報告する書類は、必ず学内の了承を得るよう業務フローの改善を図っている。次年度以降も継続することで、業務スケジュールが整理されるよう取り組んでいく。

10. 「社会貢献」

項目	評価	備考
① 学校の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献、公開講座等の実施、生徒のボランティア活動への支援などの取組	4	現在は実施できていないが必要性を認識しており、実施できるよう検討する。

を行っているか		
---------	--	--

現状の問題点

社会貢献に向けた活動が実施できていない。

改善のための方策

具体的な地域貢献活動を策定する。